

一応、これでも、僕は普段は会社員なんてことをしていますので、年に一度、成人病検診、別名、生活習慣病検診、を受けなさい、と義務付けられています。めんどくさい！

とは言え、その日は、前日の夜9時以降は飲食を禁じられ、朝っぱらからヘンテコリンなステテコもどきを着せられ、各種検査をして、お昼前には検査終了。お腹ぺこぺこ、喉カラカラ、同僚も一緒に検査。こうなると、年に一度のイベントさ。

昼から飲むぜ！
だつてさ、今日は検診だから、仕事場に行かなくていいしさ、叱られても、「バリウム飲んだらお腹壊して困りました」とか、言い訳はナンボでもできるし。

さて、その成人病検診ですが、毎年、怖いんですよ。結果を見るのがね。封書で送られてくるんですよ。シンチヨ、タイジュー、ニョーケンサー！ケツアツ、シリヨク、レントゲン！チヨウリヨク、モンシン、シンデンズ！

などとちよつと韻を踏んでラッパーのマネをしました。今年は、少しだけ考えました。
僕は毎年、検査のひと月前から、お酒を飲まないようにしていたんです。
逆の言い方をすると、そのひと月以外は、ゼツタイ



Yokohama
表紙の写真
森 日出夫【写真家】

にお酒を飲むわけです。
会社主宰(?)の健康診断で、アルコールによる肝臓障害、とか言われちゃうと、なんとなく、「社会的欠陥者」だの「一般社会墮落者」とかのレッテルを張られちゃって、排除されちゃうとイヤだな！と思うモンで、決

死の覚悟で、ひと月だけは断酒していたんですよ。で、そういうことを告白すると、それを聞いたみんなは、「間違ってる」と言うワケですよ。

いつもと同じコンディションで検査しなきゃ意味がないでしょ！と。
で、まさに明日から断酒決行！というタイミングで、主治医の中崎クリニックに行き(ここは宣伝です、実名出すって約束したから。横浜駅東口、シーバス乗り場の近くにあるクリニック、すげーいいドクターですよ)

個人的に血液検査をお願いしたのです。慣れないワインを飲みすぎて、チョー二日酔いの状態です。ゼツタイに、肝臓が悪いに決まってる。その結果を踏まえて、ひと月断酒をしてみても、どのくらい回復するのか、そのギャップをまさしく、このページにエッセイとして書いてみたかった。

自分の肝臓を、ネタにしたかった。
翌日、検査結果を聞きにクリニックへ。
名前を呼ばれて、診察室へ。

中崎センセが、検査結果のシートを見ながら、「キタゾノさん、期待に応えられなくてすみません」というようなことをウツムキ加減で言うものなので一瞬、事態が飲み込めなくてビビりました。

肝臓の数値、大丈夫です。
他の数値も、ほぼ問題ありません。
むしろ中性脂肪とか、コレステロールとかはイイカンジ。狙い通りのエッセイネタにはならない数値です、と。

なんか、センセが申し訳無さそうな顔つき。
ということはさ、ここ何年も検査前に頑張ってお酒を止めていたのって、意味無かったって事ですか？
「ですわね」

採血してくれた看護師さん(美人の)が、僕の血管に針を刺しつつ、「結果がどうであれ、結局、書くんですよ」と、斜めをむいて、おしとやかに微笑んでくれたのが嬉しかった、つてなことが今月号の主題かも！



Photo:藤間 久子「Slowly」